

米倉教公の月間為替市場見通し

6月号

ドル/円予想レンジ 105.50 - 113.30 円

『重要イベント多く波乱含みの様相！』

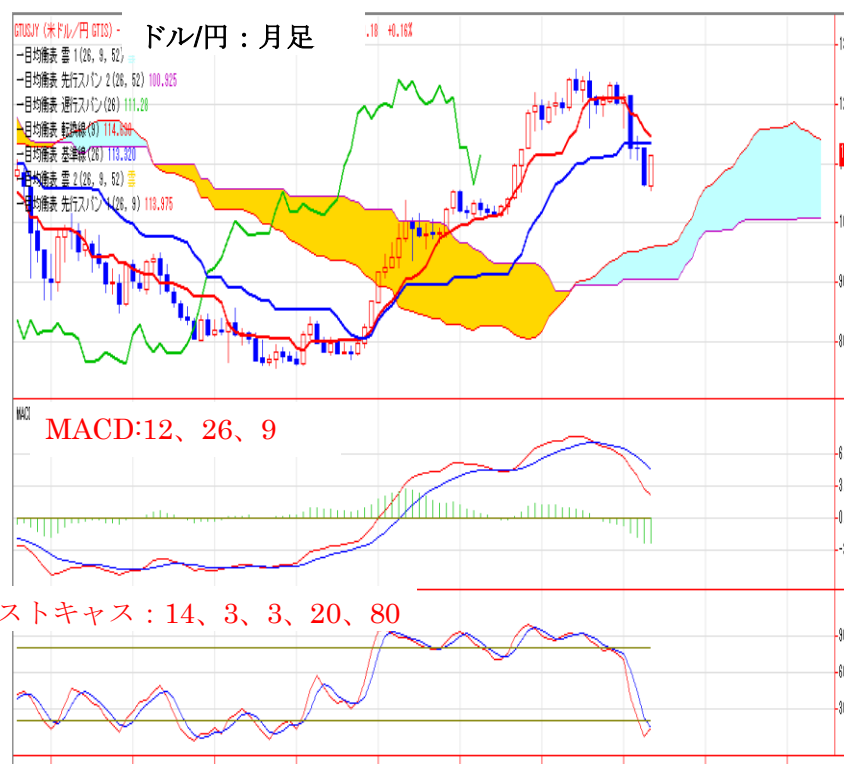
ドル/円の6月勝敗表

6月の相場	始値	終値	値幅	変動率	陽線・陰線
1995年	84.55	84.60	0.05	0.06%	陽線
1996年	108.00	109.70	1.70	1.57%	陽線
1997年	116.22	114.55	-1.67	-1.44%	陰線
1998年	138.55	138.70	0.15	0.11%	陽線
1999年	121.50	121.08	-0.42	-0.35%	陰線
2000年	107.62	106.07	-1.55	-1.44%	陰線
2001年	119.25	124.42	5.17	4.34%	陽線
2002年	124.25	119.53	-4.72	-3.80%	陰線
2003年	119.62	119.70	0.08	0.07%	陽線
2004年	109.42	108.82	-0.60	-0.55%	陰線
2005年	108.50	110.75	2.25	2.07%	陽線
2006年	112.56	114.44	1.88	1.67%	陽線
2007年	121.71	123.14	1.43	1.17%	陽線
2008年	105.10	106.19	1.09	1.04%	陽線
2009年	95.32	96.33	1.01	1.06%	陽線
2010年	91.24	88.44	-2.8	-3.07%	陰線
2011年	81.51	80.54	-0.97	-1.19%	陰線
2012年	78.29	79.79	1.50	1.92%	陽線
2013年	100.41	99.14	-1.27	-1.26%	陰線
2014年	101.85	101.32	-0.53	-0.52%	陰線
2015年	124.05	122.47	-1.58	-1.27%	陰線
平均			0.01	0.01%	11勝10敗

★6月は重要イベント多くボラティリティが高まる

1995年以降の過去21年間のドル/円では、11勝10敗と陽線・陰線がほぼ五分五分となっている。一方、値幅での平均値は1銭の円安（変化率は平均で+0.01%）となっている。ここ3年間では、3年連続の陰線となっている。ハト派で知られているダドリーNY連銀総裁の年内2回の利上げ発言から、6、7月の米利上げ観測が強まった。そのため、5月3日の安値105.51円からジリジリと円安が進んだ。6月は注目イベントが多く、イベントの結果次第では大きな変動がありそうだ。2日ECB理事会、OPEC総会、3日米5月雇用統計、6日イエレンFRB議長講演、15日FOMC、16日日銀政策会合、23日英国EU離脱を問う国民投票などが主なイベントとなる。

※この勝敗表は単純に終値から始値を引いた数値となっている。また陽線を勝ち、陰線が負けとした。



★ドル/円月足では一旦の揺り戻し

一目均衡表月足チャートでは、ドル/円は一旦下げ止まり5月は陽線引けとなった。ただ、上値には基準線の113.32円、転換線114.63円が上値抵抗ラインとなりそうだ。また、MACD（パラメータ：12、26、9）では、ゼロラインの上方からデットクロスを継続している。ただ、ストキャス（パラメータ：14、3、3、20、80）では、売られ過ぎ域から%Kが上向きとなってきた。注意点は、トレンドに強みのあるMACDが下向きを維持していることから、ストキャスの戻りは、戻り売りのタイミングになることがある。ドル/円が125.85円からほとんど休みなく105.51円まで下落したことを思えば、一旦揺り戻しがあってもおかしくない。また、6月のFOMCの利上げや日銀の追加緩和が織り込まれているので、何もない場合は、ボラティリティが高まるので注意。

★6月の主なイベント

06月01日：豪第1四半期GDP、日本通常国会会期末、中国5月製造業・非製造業PMI、中国5月財新メディア製造業PMI、スイス第1四半期GDP、米5月ISM製造業景況指数、アストロ：NYダウ変化日、日経平均変化日（6月3日まで）

06月02日：ECB理事会、石油輸出国機構（OPEC）総会

06月03日：中国5月財新メディア非製造業PMI、米5月雇用統計、米4月貿易収支、米5月ISM非製造業景況指数

06月06日：イエレンFRB議長講演

06月07日：RBA理事会、ユーロ圏第1四半期GDP・改定値

06月08日：日本4月国際収支、日本1-3月GDP・2次速報、中国5月貿易収支

06月09日：NZ中銀政策金利公表、中国5月消費者・生産者物価指数、中国・香港・台湾市場休場（10日まで、端午節）

06月10日：日経平均メジャーSQ、アストロ：金変化日（13日まで）

06月12日：中国5月鉱工業生産・小売売上高・固定資産投資

06月14日：米5月小売売上高

06月15日：英EU離脱賛成・反対派TV討論会、英5月雇用統計、米FOMC、アストロ：原油変化日

06月16日：NZ1四半期GDP、豪5月雇用統計、日銀金融政策決定会合結果公表、スイス中銀政策金利公表、英MPC、米5月消費者物価指数、米第1四半期国際収支

06月17日：NYダウ・メジャーSQ

06月20日：アストロ：満月

06月21日：RBA議事録、日銀金融政策決定会合議事録、英EU離脱賛成・反対派TV討論会

06月23日：英国EU離脱を問う国民投票、EU首脳会議（24日まで）

06月28日：米第1四半期GDP・確報

06月29日：アストロ：火星が逆行終了

06月30日：英第1四半期GDP・確報

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。